# 西高だより 鼓動 Sound of Heart

山形県立酒田西高等学校
全日制　（通算第１１１号）
平成３１年２月２８日


## より主体的な学びを　　校　長　五十嵐　文彦

３年次生のみなさん。ご卒業、おめでとうございます。皆さんは、義務教育の期間と合わせると12年間という、長い教育期間を終えます。これまで受けてきた教育では、社会生活を営む上で、専門的な学びを進める上での基盤となる内容を網羅的に学んできました。

これからは、就職するにしろ、進学するにしろ、より主体的に学ぶことが求められるはずです。仕事のスキルや自身の専門性を高めるために、学び足りない部分を知り、取り組むこととなるでしょう。主体的な学びに関わって、ある科学者が次のようなことを言っていました。「知らないところに、好奇心は生まれない。好奇心は知っている知識量に比例して増える。好奇心は燃料が注入されないとどこかで絶えてしまう。その燃料になるのが知識」、「何をやるにしても楽しそうにすること。」、「伝える技術の問題ではなく、そもそも伝えるべき内容を持っているかどうかが一番重要。人に向かってしゃべるとき、嘘のない言葉でしゃべること。自分以上でも以下でもなく、自慢も卑下もしない。飾らない。」、「自分が考えるプロセスを文章にできるか。」

皆さんには、これから学びの過程でこのようなことを心にとどめてもらいたいのです。

# 卒業おめでとう！

3年次担任からのメッセージ

## 地に足つけて歩もう。「あなた」はかけがえのない存在！　　３年次主任　佐々木　正弘

生徒会誌の卒業コーナーに、「今を必死に生きてほしい」ということを寄稿しました。その続編です。現代は表面張力的な情報量、或いは星の数程の思惑に溢れかえっています。そんな中、独りで判断し独りで行動することはとても勇気のいること。だからでしょうか、人は無意識のうちに「周囲との類似、又は同一的価値観」を、あたかも自分の価値のように納得しようとしているように思えてなりません。ＳＮＳでの「いいね」はその典型でしょうか。他人の評価無しに自分の価値を判断できなくなっているようにすら感じます。反面、「周囲との類似、又は同一的価値観」の共有に安心感を覚えつつも、何処かで目立ちたい（認められたい）という側面も少なくない。その結果、１００％他人を信じることを避ける（自分を曝け出さない）という生き方が生まれてくる。これは不幸以外の何ものでもないと思います。

卒業を前に、だからこそ「私って何者？」という目線を絶対持ち続けてほしい。あなたという一人間無しに社会は成り立たないのです。周りの目線ばかりを気にする生き方に決別し、相手を思いやる気持ちを新たに持ってみてください。見栄を張らず、現実という地面にしっかりと両足を踏ん張って生きていってください。きっと今まで気付かなかった本当のあなたと出会える筈です。卒業おめでとう。

多くの人がいう「高校３年間は短い」ということを実感しているでしょうか。様々なことに必死になることができた３年間だったでしょうか。これから進む道では、「自分はできる」という自信を持ち、しかしそれにしがみつくだけでなく、すべきことを考え行動し、結果を噛みしめて次の行動をおこす、そんな逞しさも必要でしょう。自由が増え、責任も少しずつ大きくなることを実感し、大人になっていってください。　　1組担任　梅津英幸

卒業おめでとうございます。高校を卒業すると、一気に大人になるような気がします。大人になるにつれ様々なことが変化します。その1つに自分自身が与えられる存在から与える存在になるということが挙げられます。これまで多くの人からたくさんのものを与えられてきたと思いますが、今度は自分が与える存在になることを求められます。うまくいかず苦しむこともあると思いますが、誰もが通る道です、きっと「与える」存在になれます。今抱いている夢や希望を大切に、そしてもっと大きく、深いものにして下さい。活躍を期待しています。
３組担任　髙橋亮

2000年と2001年、20世紀最後と21世紀最初の年に生まれた皆さんの卒業は平成最後の年になりました。思い起こせば3年前、入学式の終わりに、担任団の誘導を待たずに会場から自主的に退場して行った皆さん。その主体性が存分に発揮された3年間ではなかったでしょうか。チーム力が課題であったように見えて、最後には結構良いチームになったと感じられることをうれしく思います。我々の役割はもう終わります。しっかり自分の足で歩き、豊かな人生を切り開いていってください。活躍を祈っています。
５組担任　池田貴之

卒業おめでとう。これから一人一人の道に進んでいくことになります。道にも様々な道があるようにこれから楽しいことや困難なことがあると思います。近道が良いわけではありません。回り道でも成功に近づけることだってあります。簡単に自分の夢をあきらめず、いろんな方法を考えて突き進んでください。『意志あるところに道は開ける』皆さんの強い気持ちが道を切り開いてくれることと思います。皆さんの活躍を応援しています。　　2組担任　山村祥子

高校卒業という節目を迎えましたが、みなさんの前途に待ち受ける困難や挑戦を思うと、安易に「卒業おめでとう。」とも言えない気がします。これまでの学校生活で社会を生き抜くスキルを身につけ、ルールの多い環境に束縛を感じながらも、学校に守られてきました。これからは自分で判断し、行動し、責任を負わなければいけません。面倒なことかもしれませんが、それはとても幸せなことです。「他人を変えることは難しいが、自分は変われる。」人生は自分の思うとおりにできます。「夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ。」諦めるのか、諦めないのか。やるのか、やらないのか。自分次第です。
４組担任　小松孝蔵

# TOPICS

## ◎センター試験激励会

１月１８日（金）、センター試験を受験する３年次生を激励する会が開かれました。校長、PTA３年次委員長、PTA進路対策委員長、担任団からの激励メッセージの後、職員全員による激励動画を上映しました。さらに各クラス代表が決意を表明し、気持ちを引き締めました。

## ◎室内コンサート

１２月１５日（土）、芸術コース生と音楽部員による室内コンサートに保護者や友人など多くの方にご来場いただきました。

庄内地区でも有数の規模を誇る本校音楽堂で、合唱・独唱・器楽独奏・合奏・ピアノ連弾など、日ごろの練習の成果を発表することができました。

## ◎除雪ボランティアに参加しました

背丈を越える積雪に圧倒される！

１月２６日（土）、日向ささえあい除雪ボランティアに本校生９名が参加しました。

酒田市の中でもとりわけ積雪の多い日向地区、市街地とはまったく違う光景に圧倒されましたが、大量の雪と格闘しながら、午前中いっぱい除雪活動を行いました。

活動の後は、日向コミュニティセンターでの昼食交流会。おにぎりや玉こん、あったかい豚汁などをいただきながら、参加者同士の交流を深めました。

ちょっと
ひと休み…

交流会で

## ◎全国高校将棋新人大会に出場

囲碁将棋部２年の新山ひかるさんが東北大会を勝ち抜き、１月３１日から岡山県玉野市で行われた全国高等学校文化連盟将棋新人大会女子の部に出場しました。全国から集まった高校生棋士と戦い、２勝３敗という結果を収めました。

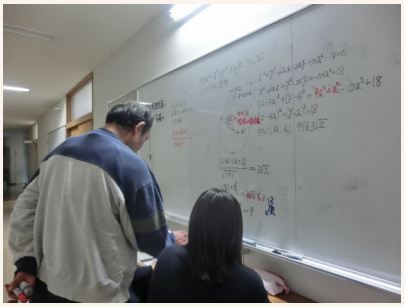
来年度につながるいい経験ができた大会でした。

「今回の大会では集中力が足りず、勝てる試合を落としてしまいました。自分の苦手戦法への対策ができていなかったので、次の大会までに研究していきたいです。」（２－３　新山ひかる）

## ★2年次探究学習発表会のお知らせ

本校で力を入れている活動のひとつである、探究学習。前期に３年次生、秋には１年次生が取り組みました。現在２年次生が着々と研究を進めています。

３月５日（火）午後に発表会を開きます。保護者の方もぜひお越しになり、生徒の研究の成果をご覧ください。

## 校舎探索

職員室前の廊下には大きなホワイトボードが３面設置されています。簡単な面談をしたり、教員に質問に来た生徒が説明を聞いたりすることができます。